

第5号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 ☎ 072-953-3881 FAX 072-953-3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

地域の人たちとともに

「たかわしこどもまつり」

梅雨のむし暑い天候が続いておりませんが、皆さんは元気にお過ごしでしょうか。学園の子どもたちは大きな病いやけがもなく、元気に幼稚園や学校に通っております。

さて、5月30日に「たかわしこどもまつり」を開催いたしました。雲ひとつない青空の下、3年ぶりの開催にもかかわらずたくさんの人たちに集まってくれました。盛況の内に終わることができました。皆さんのご協力に感謝を申し上げます。

「たかわしこどもまつり」は、学園の子どもたちが地域の人たちと一緒に何かできないかと、バザーや模擬店を出して交流するとりくみから始まりました。はじめは「高鷲学園バザール」という名称がついていたのですが、高鷲保育園や高鷲こどもクラブ(学童保育)、地域の諸団体と共催する中で、3年前に今の名称に変わりました。今年で46回を数えますが、模擬店への参加や舞台の出演、資材の借用、校

区・地区の協賛など、地域の人たちや団体から協力を得て一緒に作って作り上げるまつりへと成長してきました。

かつて、子どもたちは地域の中で地域によって育てられるということが当たり前としてありました。その環境が大きく変わってしまった今、子育ては大変難しくなっています。そんな時代だからこそ、地域において、子どもたちと大人たちが直にふれあえる場はとても大切です。

今年のこどもまつりでも、すばらしい光景がたくさん見られました。ステージで照れながらも大きな声で歌っていた子どもたち。保護者の前でうれしそうに踊る幼児さん。楽しそうに何回も遊びの列にならぶ小学生たち。久しぶりの再会を喜ぶ卒園生たちの声。口数の少ない高校生たちが舞台進行に汗を流す姿。どの保護者も子ども

たちもいきいき、いい顔がいっぱいありました。

企画や準備などに関して大変なことかもしれませんが、今後も長く続けていきたいと思っております。来年からは6月の第一日曜日が定例開催日となります。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

(園長 瀬川 佳成)

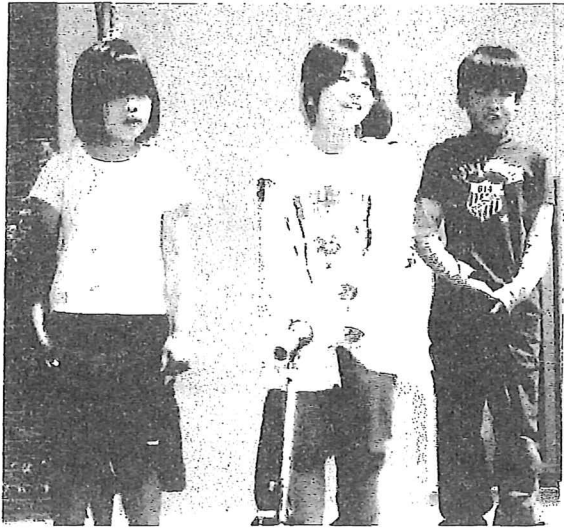
みんな笑顔で記念撮影



「楽しかったよ」

建て替え後初めてのこどもまつりという事で、職員も試行錯誤を重ねながら準備を進めていました。また、今年は耐震工事の影響で、地域の運動会と重なり来場者数が減るのではないかとという心配もありましたが、当日は天気にも恵まれ、晴天の中たくさんの方々が参加してくれました。

久しぶりにお声を掛けさせて頂いた参加団体の方々をはじめ、多



くの人たちに「待ってました」と歓迎されたことは、こどもまつりが地域のまつりとして確実に根付いているのだなと実感し、今後のまつり開催に向けても大きな励みとなりました。また、卒園生にとってもまつりが集いの場になっているようで今年もたくさんの方の懐かしい顔が見られました。建て替え前に比べ、少しこじんまりとした園庭では、子どもの広場、模擬店、中央舞台でそれぞれ様々な催しが開かれました。

子どもたちが遊べる子どもの広場では、昔懐かしいおもちや作りの体験に真剣な表情で取り組む子や、スーパーボールすくいを楽しむ子、キールダー作りをもっとしたいと言う子もいました。

今年も設置したエアトランポリンでは順番待ちの列を作る程の盛況振りで、子どもたちは順番が来ると大喜びで中



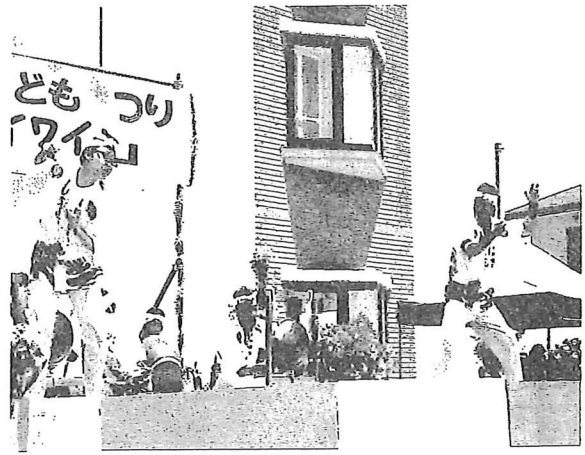
に入り、「キャッキヤツ」と笑い声を上げながら飛び跳ねていました。子どもの広場では子どもから大人まで遊びに熱中する姿が見られ、皆の笑顔で溢れていました。学園の子どもたちも普段慣れない店番をし、大活躍してくれました。模擬店では地域の色々な団体の方が協力して下さり、焼きそばや、フランクフルト、焼き鳥、わたがし、ベビーカーステラ等おいしいにおいが漂いました。お昼時になる



と多くの方が昼食を買い求め、大いに賑わいました。学園では毎年恒例の手作りのカレーライスやパウンドケーキを販売し、中高生が「いらっしやいませ」「カレーおいしいですよ」「ケーキいかがですか」と声をかけながら一生懸命売ってくれました。(お買い上げいただきました皆様、ありがとうございました。)

中央舞台では、高校生が司会進行をしながら、中学校の吹奏楽部の演奏や、ちびっこ新体操、地車

囃子、紙芝居の読み聞かせ、芸大アクションチームによるヒーローショーとバラエティーに富んだ多くの参加団体の方に舞台を盛り上げていただきました。中でも今年度は地域の皆さんへの建て替え後のお礼という意味も含め、打打打団天鼓という太鼓の演奏グループを特別招待という形でお呼びし、演奏をしていただきました。演奏が始まると迫力のある太鼓の音に会場が一つになっていくような一体感が生まれ、子どもから高齢の方まで、聞き入り、今までにはなかつ



(まつり事務局 山田 千尋)

太鼓の迫力ある演奏を披露してくれた打打打団天鼓の皆さん

た盛り上がりのなか第46回たわしこどもまつりを終えることができました。参加して下さった多くの方々に感謝の気持ちで一杯です。素敵なおともまつりとなりました。ありがとうございました。

暑のページ

心の声に 耳を傾けながら

「○○ちゃん、起きや。○時やで」
「○○くん、起きてる？また声かけに来るから起きててね」



職員の声が飛び交う起床の声かけ。一日のスタートである登校は一人一人の様子を見ながら、起床の声かけから始まります。
中学生からの入所児童の中には不登校を起す子どもがいます。入所に至るまで親と気持ちがかみ

合わず、親子ともに強いストレスと葛藤を抱えています。入所してからは新しい環境に向かう力が弱く、自分の居場所を模索し、心の安定を図ろうともがく姿が見られます。職員は子どもの心の揺れに付き合い、心の声を聞きながら、寄り添い、見守ります。

子どもからのサインを見逃さないよう、またいろいろな出し方をしてくいても受け止めていけるよう職員も必死です。それでも学園が子どもの止まり木になり、将来に向かつて羽ばたいていけるようにと職員は願い、大変な日々ですが希望を持って奮闘しています。

(学童ブロック 坂井加代子)



寄付金・寄贈をいただいた方

(2010年4月〜6月)

ありがとうございました。

(敬称略)

寄付金

松原青年会議所

B・T (富田林市)

匿名

寄贈

大阪府玩具人形間屋協同組合連合会 (おもちゃ)

浅田満 (国産牛ロース)

高知県田中農園 (文旦)

水明堂 (じゃんぼどらやき)

真銅善夫 (ぶどう)

招待

オリックスバファローズ

(野球観戦)

㈱拓洋 (野球観戦)

矢野シート (野球観戦)

ガンバ大阪 (サッカー観戦)

ゴールドマン・サックス証券(株)

(野球観戦)

寄贈のお願い

御家庭で不要になった、まだ使えそうである20〜28インチの自転車があれば寄贈をお願いします。(学童ブロック)



調理ブロック

一枚一枚に思いを込めて



調理ブロックでは、一か月に一回日曜日の昼に「昼食会」という取り組みを実施しています。

昼食会とは、子どもたちのリクエストによるメニューや普段とは違った出し方で食べてもらうイベントです。今までに、お子様ランチや行楽弁当、子どもたちがトッピングを選べるカレーライス等を実施してきました。

子どもたちは献立を見ながら今日の昼食会は「何やろう」と楽しみにしてくれています。お好み焼きは、移動式の鉄板を使い、一人一枚ずつ焼きました。焼いているところを幼児さんたちが見に来て、ひっくり返す瞬間を見ては「ワアーツ」と声を上げ、興味津津でした。

これからも、食を通じて子どもたちに様々なことを伝えられたらと思います。(調理ブロック 杉元直樹)

財団後援会の更新

入会のお願い

会員の皆さん、いつも子ども達にあたたかい御支援をありがとうございます。ごさいます。

新たに会員になってくださる方を広く募集しております。また既に会員となつてくださっている方で、まだの方は今年度の更新をよろしくお願ひします。

一口年間3000円です。

ほっとひとこと

梅雨入りし雨の日も多く、夏が待ち遠しい今日この頃です。そんな中サッカーの南アフリカW杯では、前評判が高いとは言えなかつた日本代表が梅雨をふっ飛ばすかのような善戦をし、ベスト16に入りました。学園でも子どもたちが「昨日の試合どうなった?」「僕は〇〇が優勝すると思う」等と盛り上がっております。

7月末には子ども達にとって待ちに待った夏休みが始まります。毎年恒例の夏のキャンプもあり、素敵な思い出をたくさん作って欲しいと思います。

若林 康一